

令和2年9月30日

学生・保護者の皆様へ

宇部工業高等専門学校
校長 山川 昌男

新型コロナウイルス感染症拡大防止について（その5）

本校では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、第1学期の4月第3週からオンデマンド授業を開始し、第2学期からは、講義については、オンデマンド授業を継続しつつ、実験・実習科目については、原則週一日のクラス毎の登校日を設定して対面授業を実施してきました。

5月末に緊急事態宣言が解除された後、県内の小中高等学校では、通常の対面授業が再開されており、学生・保護者の皆様からは、本校においても全面的に対面授業に戻してほしいとの要望も伺っています。本校では、これら要望の他、地域の感染状況、本校の特性、本校で実施可能な感染防止対策等を踏まえて総合的に検討を重ねた結果、10月6日（火）から始まる第3学期において、本科1年生については、全面的な対面授業を再開することとし、2年生以上については、現在のオンデマンド授業を主体とした原則週一日登校日の設定を継続することといたしました。

高等教育機関である本校は、高校一年生に相当する本科1年生から、大学4年生に相当する専攻科2年生まで幅広い年代の学生が1,000名以上在籍し、出身地は県内に留まらず、県外からの学生や海外からの留学生も在籍しています。また、本校の重要な活動である就職活動や研究活動は、全国規模で行われています。このため、大学と同様、市中感染が続いている大都市部を含めた他の地域の方々との接触の機会も多く、高等学校と比較して感染のリスクは必然的に高くなるものと思われれます。

また、本校の大きな特色の一つは、約300名の寮生を抱える学寮の存在です。学寮は集団生活の場であり、食堂や浴室は共用施設であるため、密になる環境が形成されやすいと考えられます。現在、感染防止対策として、寮生への3密防止の徹底に加え、毎日の消毒、食堂の飛沫防止対策、浴室の時間差使用などを実施しているほか、寮室についても、3人部屋の廃止や一部の2人部屋の個室利用を行っています。このため、現在は一部の寮生にご不便をおかけしながらも帰寮を控えていただいています。全面的な対面授業を再開するには、寮生全員を寮に戻すことが前提になります。現在、そのための準備を進めていますが、寮生の増加は、感染リスクの増大に繋がることは否定できません。

全国の新型コロナウイルスの感染状況は、現在減少傾向にあり、県内においても感染拡大が収束しつつあるように思われますが、今後、経済社会活動が活性化されるとともに、インフルエンザの流行時期を迎えることに伴い、再び感染が拡大する可能性も十分考えられます。

このような現状を踏まえ、前述した事情を抱える本校としましては、可能な限り学生の安全を確保しながら学生の学びを保障することを第一に考え、現時点において、全ての学年の全面的な対面授業の再開に踏み切ることは慎重にならざるを得ないと判断いたしました。学生、保護者の皆様の御理解をいただければ幸いです。

オンデマンド授業は、感染を防止し、学びを継続する観点から有効な方策であることに加え、学生が自分のペースで学習することができる、理解が不十分な点を見直すことができるといったメリットがあります。反面、学生に自己管理が求められる、課題提出の負担が大きい、学生の理解度を把握しづらいといったデメリットもあります。4月にオンデマンド授業を開始して以降、これらの問題を解消すべく、様々な工夫を行いながら改善を進めてきましたが、今後も更なる改善を図りながら、学生に十分な学習機会を提供していきたいと考えています。

一方で、本校における教育は、授業のみで完結するものではなく、豊かな人間性を涵養するうえで、直接の対面による学生同士や学生と教員との人的な交流も重要な要素であり、状況が許せば、なるべく早く通常の学校生活に戻す必要があると考えています。

特に高専生としての学修や学生生活に慣れていない新入生の中には、想像していた学生生活との違いに戸惑い、人間関係の構築に悩んでいる学生も見られます。このため、1年生については、特に優先度が高いと考え、第3学期から全面的な対面授業を再開することといたしました。

2年生以上については、原則週一日の登校日の設定は継続しますが、登校日以外の日でも図書館、情報処理センター、ホームルーム教室等の施設開放を行います。学習サポートや就職・進学をはじめとする各種相談を学校で受けることもできます。また、卒業研究や特別研究は対面での指導も行います。更に、学生の皆さんが楽しみにしているクラスマッチや高専祭についても、十分な感染対策を行いながら実施することを検討しています。感染拡大の状況にもよりますが、12月から始まる第4学期からは全学年において対面授業の再開を目指したいと思えます。

新型コロナウイルスの学内感染を防止するためには、学生・教職員一人ひとりが適切な行動をとることが極めて重要です。学生の皆さんには、マスクの着用、手洗いの徹底のほか、3密を避け、感染拡大のリスクを高める行動をとらないことを望みます。また、発熱や風邪の症状がある場合は、登校を控えてください。

学生・保護者の皆様には、引き続きご理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。